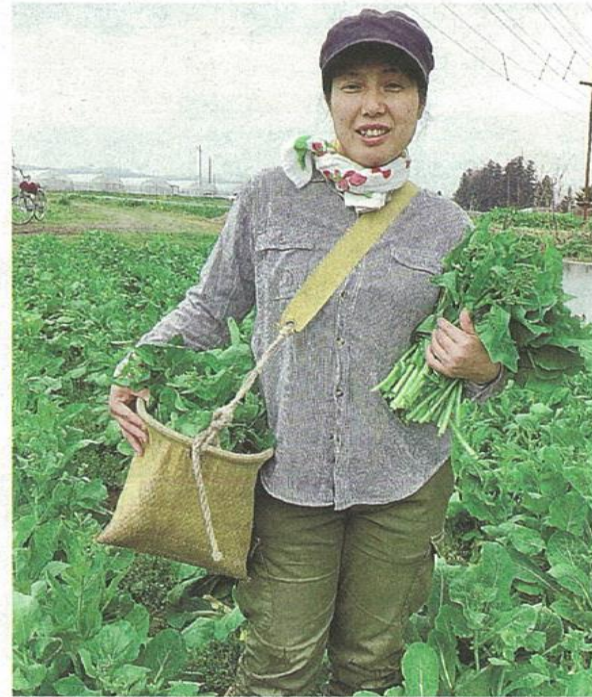


ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



クキタチ菜を収穫する木村さん

▶ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）メンバーの思いや農作物、ネットワークの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。URLは<https://www.fuku-girl.jp/> 事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



木村貴華子さん（会津若松市）

また畑で遊びたい！

初夏。田んぼに水が入り水鏡となります。町も村も会津盆地がキラキラと輝いて、空を映し込みます。本格的に農作業が始まるドキドキ感。田んぼや畑と共にある今の生活が大好きです。

会津若松市内の高校を卒業後、田舎には帰らないと決め上京。専門学校に進学し、洋服の販売や営業の仕事に就きました。東京は確かにおしゃれで、きらびやかでした。でも、ふと気付くと思いはるさとへ…。土の香りが恋しくなりました。

子どもの頃、農作業のお手伝いは遊びの延長でした。リヤカーを引き回したり、雨上がりの畑で泥だんごを作ったり。おやつはキュウリの丸

かじり、完熟トマト。畑で食べるスイカ。おいしかった。

また畑で遊びたい！それが私の原動力となり、36歳で会津の実家に戻り農業をすることにしました。

いざいざ！子ども心に帰って、はだして田んぼに入りました。土の感触サイコー！良かったのは最初だけ（笑）だんだんかゆくなってきて…。よく見たら足に黒いのが、ヒル！自然からの先制攻撃パンチ

でした。それでも、田畑にいただけで心が元気になってきます。今は約3畝の土地で、米やトマト、ブロッコリーなどを作っています。先月はクキタチ菜がどっさり取れました。

震災以降は、縁があった東京の日

暮里で月に一度、季節の作物を対面販売しています。毎回出発の前日は家族総出で準備。作業小屋が野菜に埋め尽くされ、袋詰めも大変です。車での移動中、いつも家族に支えられていることのありがたさを改めて実感し、涙が出てきます。

太陽の光、そよ風、嵐も吹雪も、全身で感じられる幸せ。野菜を通じて人と自然がつながる。

やっぱり、農業が大好きです。

◆プロフィール◆ 会津若松市で両親、兄、おいと共に農園を経営。米、トマト、ブロッコリーを主軸にキュウリ、ナス、キャベツなど多品目を小ロットで栽培する。直売所やスーパーの地場産コーナーに出荷している。県内外の対面販売イベントでは「弥七農園」のネーミングで参加している。